

配分先・助成先

ここでは、法人の掲げる公益目的事業が、平成22年度はどの程度実行されたかをご報告いたします。法人の目的事業は、募金などの収入を広く公平に寄附する事業（便宜上、これを配分と言います。）と、寄附の要請に対して助成する事業、また、災害時の被災地施設を支援する事業があります。

1. 配分事業（推薦型）

全国の障害児者と要介護高齢者の施設に物品を寄贈する事業。

2. 一般助成事業（公募型）

法人の公募に対して申請してきた団体や福祉法人に助成する事業。

3. 車椅子清掃ボランティア助成事業（公募型）

おもに、特別養護老人ホームで使われている車椅子を清掃するボランティアに、必要な経費を助成する事業。

4. 災害物資支援事業

地震や台風、局地的豪雨などで被災した施設に物資援助する事業。

以上4点について、ご報告いたします。

《 1. 配分事業（推薦） 》

この事業は、ほとんどが、12月の「年末配分＝クリスマスプレゼント」という名目で行われます。各県の社会福祉協議会や、協賛企業・団体の推薦を参考にして施設を選定し、テレビや車椅子など、施設に有益なものを寄贈します。寄贈品は、毎年のアンケートによって変化する事があります。

22年度の年末配分には、地デジ対応液晶テレビ、マスク、プラスチックグローブ、プリンター、の4種類を寄贈しました。表7に記載しました。

また、表7の「年末配分」とは別に、表8の配分をいたしました。

表8にある車椅子は、北海道麺業から、車椅子が不足している釧路市役所に車椅子を2台寄附してほしいとの要望に基づいたものです。

同じく表8にあるマスクは、会員の坂田文晴氏から6万枚の現物寄附があり、3千枚を1単位として都内の施設に配布したものです。この企画は、東京善意銀行に協力を求めて、東京善意銀行の推薦する施設から20施設を決めようというものでした。善意銀行が募集を懸けたところ、鳥インフルの影響も残っていて、応募施設の数は予想をはるかに超えていたそうです。また、1施設3千枚では需要に足りならしく、六千枚を希望する施設が圧倒的に多く、寄附する施設の数は予定の20施設の半分の11施設にとどまりました。

表7 平成22年度年末配分先一覧

※寄贈品の内訳は表の最後に記載してあります。

	地域	寄贈先名	寄贈先住所	寄贈品	数	寄贈実施日
1	北海道	北海道クリスチャンセンター	札幌市北区北7条西6丁目	TV	1	H22.12.15
2	青森	青森県小規模作業所連絡協議会	青森市新城平岡 30-11	TV	1	H22.12.16
3		青森障害者との会 コスモス	青森市新城字山田 671-49	プリンター	1	H22.12.13
4	岩手	大洋学園	大船渡市立根町下欠 125-15	TV	1	H22.12.15
5		一関藤の園	一関市山目字館 2-5	プリンター	1	H22.12.10
6	宮城	名取市みのり園	名取市増田 1-8-34	TV	1	H22.12.13
7		身体障害者通所授産施設 一寿園	仙台市太白区富田字南ノ西 26	TV	1	H22.12.15
8		知的障害者通所授産施設 すまいる作業所	仙台市泉区南光台東 3-11-35	TV	1	H22.12.15
9		就労移行支援事業所 登米大地	登米市迫町新田字山居 38-1	マスク	1	H22.12.21
10		レインボー多賀城	多賀城市鶴ヶ谷 1-10-3	マスク	1	H22.12.20
11		第二虹の園	角田市佐倉字裏一番 63	手袋	1	H22.12.20
12		知的障害者通所授産施設 ぎんの星	東松島市矢本字太子前 324-3	手袋	1	H22.12.20
13	山形	地域活動支援センター ドリームハウス	最上郡真室川町大字新町 127-5	TV	1	H22.12.15
14		工房 せい	鶴岡市大山 3-36-35	プリンター	1	H22.12.13
15	茨城	重症心身障害児施設 青嵐療育園	古河市上大野 698	TV	1	H22.12.12
16	栃木	障害福祉サービス事業所 CCV ウエルフェア	鹿沼市茂呂 1997-2	TV	1	H22.12.13
17		知的障害者通所授産施設 ハート二宮	真岡市久下田 1798	プリンター	1	H22.12.10
18	埼玉	わーくほーむ江南	熊谷市板井 925-2	TV	1	H22.12.20
19		レモンカンパニー	三郷市早稲田 1-11-13	TV	1	H22.12.15
20		地域デイケア施設 空と雲の家福祉作業所	羽生市常木 1104-3	プリンター	1	H22.12.15
21		多機能型事業所 さくら	さいたま市北区宮原町 2-45-7	マスク	1	H22.12.20
22		地域福祉活動グループ おにっこハウス	熊谷市板井 1630-7	マスク	1	H22.12.20
23		さといも作業所	桶川市末広 2-8-29	手袋	1	H22.12.20
24	千葉	特別養護老人ホーム 清和園	千葉市若葉区多部田町 1468	TV	1	H22.12.11
25	東京	特別養護老人ホーム みどりの郷福楽園	江戸川区臨海町 1-4-4	TV	1	H22.12.11
26		特別養護老人ホーム 第2カントリーピア青梅	青梅市長淵 1-939-1	TV	1	H22.12.11
27		特別養護老人ホーム 爽爽荘	調布市飛田給 3-37-1	TV	1	H22.12.11
28		身体障害者通所授産施設 ライフサポートつばさ	東村山市富士見町 3-4-16	TV	1	H22.12.13
29		知的障がい者入所更生施設 目黒恵風寮	目黒区大橋 2-19-1	TV	1	H22.12.13
30		知的障害(者)通所訓練事業所 あらぐさ分教室	町田市木曾西 4-17-7	TV	1	H22.12.14
31		精神障害者生活訓練施設 たまこヒルズ	武蔵村山市中藤 2-28-1	TV	1	H22.12.11
32		精神障害者共同作業所 ひあしんす城北	板橋区小茂根 4-18-14	TV	1	H22.12.13
33		就労継続支援事業所 なごみの里	東村山市久米川町 3-12-8	TV	1	H22.12.15
34		心身障害者授産事業所 カタバミ作業所	国立市西 2-20-8	TV	1	H22.12.13
35		知的障害児施設 宮代学園	渋谷区広尾 4-2-12	プリンター	1	H22.12.10
36		知的障害者通所授産施設 ワークセンターいちよう	羽村市栄町 2-18-1	プリンター	1	H22.12.15
37		葛飾幼児グループ	葛飾区青戸 3-10-5 青戸児童館内	プリンター	1	H22.12.10
38		地域デイサービス でんでん虫の家作業所	町田市真光寺町 226-1	プリンター	1	H22.12.11

39	東京	にんじんの家作業所	八王子市館町 25-1	プリンター	1	H22.12.10	
40		就労移行支援事業所 あおいとり日野	日野市東平山 3-1-27	プリンター	1	H22.12.21	
41		就労継続支援事業所 いくせい工房	三鷹市新川 3-10-8	プリンター	1	H22.12.10	
42		肢体不自由児施設 中央愛児園	新宿区西早稲田 2-2-8	マスク	1	H22.12.20	
43		身体障害者入所授産施設 たましろの郷	青梅市長淵 5-1420-2	マスク	1	H22.12.20	
44		知的障害者通所更生施設 いずみえん	大田区矢口 3-1-5	マスク	1	H22.12.24	
45		知的障害者入所更生施設 武蔵立川学園	立川市西砂町 4-75-4	マスク	1	H22.12.20	
46		知的障害者入所更生施設 澄水園	小平市小川町 1-485	マスク	1	H22.12.20	
47		知的障害者入所更生施設 山の子の家	西多摩郡日ノ出町大久野 8025-11	マスク	1	H22.12.20	
48		特別養護老人ホーム 三井陽光苑	江東区新砂 3-3-37	手袋	1	H22.12.20	
49		特別養護老人ホーム 練馬キングス・ガーデン	練馬区早宮 2-10-22	手袋	1	H22.12.20	
50		特別養護老人ホーム 足立翔裕園	足立区入谷 9-15-18	手袋	1	H22.12.23	
51		特別養護老人ホーム 足立新生苑	足立区花畑 4-39-10	手袋	1	H22.12.20	
52		特別養護老人ホーム 信愛の園	清瀬市梅園 2-3-15	手袋	1	H22.12.20	
53		特別養護老人ホーム 青陽園	八王子市川口町 1543	手袋	1	H22.12.20	
54		特別養護老人ホーム 日の出ホーム	西多摩郡日ノ出町平井 3076	手袋	1	H22.12.20	
55		知的障害者作業所 喜多見福祉作業所	世田谷区喜多見 9-1-35	手袋	1	H22.12.20	
56		神奈川	社福)春光学園	横須賀市小矢部 2-14-1	TV	1	H22.12.11
57			聖園子供の家	藤沢市みその台 1-3	TV	1	H22.12.11
58	社福)新日本学園		川崎市中原区木月伊勢町 3-3	TV	1	H22.12.11	
59	川崎授産学園		川崎市麻生区細山 1209	マスク	1	H22.12.20	
60	白十字林間学校		茅ヶ崎市富士見町 4-54	マスク	1	H22.12.20	
61	神奈川	成光学園	座間市緑ヶ丘 4-20-21	マスク	1	H22.12.24	
62	新潟	障害者支援施設 かたくりの里	新潟市西蒲区橋本 88-1	TV	1	H22.12.11	
63		知的障害者授産施設 みどりの家	村上市羽黒町 1-3	TV	1	H22.12.11	
64	石川	就労継続支援事業所 クローバー	金沢市小立野 3-17-5	TV	1	H22.12.13	
65	福井	児童デイサービス事業所 しいのみ	坂井市丸岡町一本田 35-41	TV	1	H22.12.15	
66		福井県社会福祉協議会	福井市光陽 2-3-22	TV	1	H22.12.15	
67	静岡	静岡県済生会 静岡医療福祉センター	静岡市駿河区曲金 5-3-30	TV	1	H22.12.13	
68		デイサービスセンター はーとびあ清水	静岡市清水区宮代町 1-1	TV	1	H22.12.11	
69		社福)浜松市社会福祉協議会	浜松市中区成子町 140-8	手袋	2	H22.12.20	
70		静岡市わらしな学園	静岡市葵区飯間 2263	手袋	1	H22.12.20	
71		宍原荘	静岡市清水区宍原 362	手袋	1	H22.12.20	
72	愛知	指定生活介護事業所 そだちの家	岡崎市欠町字清水田 7-1	TV	1	H22.12.13	
73		身体障害者通所授産施設 さくらワークス(こじま福祉会)	豊田市大成町 2-1	TV	1	H22.12.13	
74		身体障害者通所授産施設 リサイクルみなみ作業所	名古屋市南区元塩町 6-8-5	TV	1	H22.12.11	
75		身体障害者授産施設 名身連第一ワークス	名古屋市熱田区横田 2-4-22	TV	1	H22.12.13	
76		生活介護事業所 豊橋こしぐち学園	豊橋市高師町字北原 1-103	TV	1	H22.12.13	
77		短期入所サービス事業所 額田の村	岡崎市金町字長沢連 6	マスク	1	H22.12.20	
78		生活介護事業所 ふきのとう	名古屋市緑区大高町字一色山 23	マスク	1	H22.12.20	

79	愛知	就労生活支援センター 童里夢	豊橋市石巻町字野田 6-5	マスク	1	H22.12.21
80		就労継続支援事業所 ワークスあおい	岡崎市島町 14-14	手袋	1	H22.12.20
81		障害児タイムケア施設 かるみあ	豊田市本新町 4-101	手袋	1	H22.12.20
82		障害福祉サービス事業所 しろがね	豊橋市野依町字山中 19-12	手袋	1	H22.12.20
83	三重	みどり自由学園	津市乙部 33-5	TV	1	H22.12.10
84		社福)喜樂里	津市榊原町字中上 4621	マスク	1	H22.12.20
85		おおぞら	伊賀市高畑字深田 784-2	マスク	1	H22.12.18
86	大阪	デーセンター夢飛行	大阪市西成区岸里東 1-5-25	TV	1	H22.12.11
87	香川	特別養護老人ホーム 弘恩苑	高松市前田西町 683-7	TV	1	H22.12.13
88		特別養護老人ホーム 岡本荘	高松市岡本町 527-1	TV	1	H22.12.11
89		特別養護老人ホーム すみれ荘	高松市十川西町 1234-1	TV	1	H22.12.12
90		グループホーム 志度玉浦園	さぬき市志度 1610-1	TV	1	H22.12.13
91		特別養護老人ホーム 白山山荘	木田郡三木町大字下高岡 2882-1	TV	1	H22.12.11
92		介護老人福祉施設 寿楽荘	綾歌郡宇多津町津の郷 170-1	TV	1	H22.12.13
93		特別養護老人ホーム 松林荘	綾歌郡綾川町山田下山王 435-4	TV	1	H22.12.11
94		特別養護老人ホーム 桃陵苑	仲多度郡多度津町西港町 127-3	TV	1	H22.12.11
95		介護老人福祉施設 引田荘	かがわ市引田 922-18	マスク	1	H22.12.20
96		特別養護老人ホーム たくま荘	三豊市詫間町詫間 7732-60	マスク	1	H22.12.20
97		特別容疑老人ホーム 楽々苑	綾歌郡綾川町滝宮 376-2	手袋	1	H22.12.20
98		特別養護老人ホーム 満濃荘	仲多度郡まんのう町長尾 1102	手袋	1	H22.12.20
99	高知	多機能型事業所 昭光園	高知市北本町 4-2-49	TV	1	H22.12.13
100	熊本	熊本ライトハウス	熊本市新生 1-23-1	TV	1	H22.12.13
101	鹿児島	はまゆり学園	大島郡喜界町大字赤連 38	TV	1	H22.12.14

※配分品内訳 ●TV：ソニーブラビア32型48台、22型3台

●プリンター：リコーレーザープリンター15台

●マスク：サージカルマスク1梱3,000枚×20梱=60,000枚

●手袋：プラスチックグローブ1梱4,000枚×20梱=80,000枚

※年末配分総額：¥4,796,270-

	地域	寄贈先名	寄贈先住所	寄贈品	数	実施日
1	北海道	釧路市役所障害課	釧路市黒金町 7-5	車椅子	2	H22.10.13
2	東京	社福)つるかかわ学園	町田市真光寺町 186	マスク	2	H22.7.12
3		社福)東京光の家	日野市朝日が丘 1-17-17	マスク	2	H22.7.12
4		全国重症心身障害児(者)を守る会 あけぼの学園	世田谷区三宿 2-30-9	マスク	1	H22.7.12
5		とぶき育成園	八王子市戸吹町 1636-1	マスク	2	H22.7.13
6		社福)田無の会	西東京市向台町 3-1-11	マスク	2	H22.7.12
7		グループホームゲンキ本天沼	杉並区本天沼 1-14-3	マスク	2	H22.7.12
8		秋津療育園	東村山市青葉町 3-31-1	マスク	1	H22.7.12
9		さやま園	東村山市富士見町 2-7-13	マスク	2	H22.7.12
10		瑞学園	西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎武蔵野 940	マスク	2	H22.7.12
11		社福)創生	練馬区土支田 3-4-20	マスク	2	H22.7.12
12		東京小児療育病院	武蔵村山市学園 4-10-1	マスク	2	H22.7.12

《 2. 一般助成事業（公募） 》

この一般助成事業の公募は、法人のホームページと、ボランティア・市民活動助成ガイドブック（東京ボランティア・市民活動センター発行）で行っています。NPOや各団体は都や市区町村からの補助金で活動していますが、補助金だけでは運営ができないため、社団や財団からの助成を活用する傾向があります。年間で不足する金額は、概ね、200万円から300万円です。社団や財団からの助成金が下りない場合は、親法人（社会福祉法人）や、その団体の父母会から借り入れて、行政からの補助金が下りたら返済し、年度末に借り入れてまた返す、自転車操業をしていると聞きます。

法人の助成額は、原則10万円ですから、とても不足分を補うには足りないと思うのですが、助成を受ける団体には、大変に喜ばれています。

補助金が削減される23年度は、助成の申し込みが多くなることも予想されます。

表9 一般助成事業の内訳

	地域	助成団体名	住所	金額・用途	実施日
1	東京	東京都精神障害者地域支援とうきょう会議 (東京都精神障害者バレーボール大会)	世田谷区梅ヶ丘1-33-9 B1	¥120,000- 練習用バレーボール100個	H22. 4. 23
2	東京	八王子セブンクラブ A	八王子市川口町447-5	大会賞品 デジタルカメラ	H22. 11. 18
3	東京	夢来	八王子市別所1-3-18-201	大会賞品 デジタルカメラ	H22. 11. 18
4	東京	八王子セブンクラブ B	八王子市川口町447-5	大会賞品 プリンター	H22. 11. 18
5	東京	共同作業所オーク	豊島区西池袋1-2-6 B1	大会賞品 プリンター	H22. 11. 18
6	東京	あとリエトントン	東大和市南街5-9-6-101	大会賞品 ワンセグTV	H22. 11. 18
7	東京	第2あとリエトントン	東大和市向原4-33-9-101	大会賞品 ワンセグTV	H22. 11. 18
8	東京	放課後クラブ ゆめクラブ	大田区池上6-13-11 1F	¥100,000- クッキングプレート(教材)他	H23. 1. 7
9	東京	手話紙芝居ボランティアグループわの会	大田区蒲田4-31-1	¥100,000- 公演費用	H23. 3. 11

《 3. 車椅子清掃ボランティア助成事業（公募型） 》

22年度は、新しいグループは立ち上げることができませんでした。

新屋堂グループは、安定した活動を続けています。年4回、杉並区内の特別養護老人ホーム「沓掛ホーム」を拠点としています。22年度は、社員21名、延べ人数33名の活動でした。企業が社会貢献活動をするときの長所、例えば、計画性や規律、礼儀などが徹底されていて、模範的な活動といってもよいのではないかと思います。

この助成事業の最大の目的は、住民が地元の特養ホームでボランティアをすることにあります。東日本大震災で多くのボランティアが活躍していますが、災害時だけではなく、日常生活でもボランティア活動をするようになれば、障害者や高齢者の生活環境は大きく向上すると思っています。

表10には、法人の助成事業で立ち上げた新星堂グループの22年度の活動状況をまとめ、表11には、この事業に費やした総経費をまとめました。

表10 車椅子清掃ボランティアの活動状況

実施日	グループ・人数	実施施設名	住 所	台数
H22.4.19	新星堂グループ・9名	沓掛ホーム	東京都杉並区本天沼3-34-28	12台
H22.7.10	新星堂グループ・8名	沓掛ホーム	東京都杉並区本天沼3-34-28	12台
H22.11.27	新星堂グループ・8名	沓掛ホーム	東京都杉並区本天沼3-34-28	14台
H23.2.26	新星堂グループ・8名	沓掛ホーム	東京都杉並区本天沼3-34-28	15台



表11 助成費用明細

実施日	助成対象者	助成品	金額
H22.4.6	行田グループ(特養ホームおきな)	ランチセット等用具一式	¥7,000-
H22.4.13	行田グループ(特養ホームおきな)	自転車エアポンプ	¥1,794-
H22.4.19	新星堂グループ	ボランティア保険11名	¥5,500-
H22.5.14	新星堂グループ	サビ落とし	¥3,000-
H22.5.16	新星堂グループ	ピック	¥1,776-
H22.5.16	新星堂グループ、在庫	アルコール液1リットル×12本	¥15,120-
H22.7.2	新星堂グループ	ボランティア保険5名	¥2,500-
H22.11.27	新星堂グループ	ボランティア保険4名	¥2,000-
H23.1.24	新星堂グループ、在庫	化学スポンジ	¥4,980-
H23.2.21	新星堂グループ	ボランティア保険1名	¥500-
H23.2.26	森工車椅子会	ボランティア保険19名	¥9,500-
		合 計	¥53,670-

表11の最下段にある「森工車椅子会」の「ボランティア保険19名」というのは、社協からの助成金（ボランティア保険に充当）が廃止になったため、法人の助成事業に申請してきたものです。削減、削減という声が出たように聞こえてきます。旧大森学園高校時代から10年以上も続けてきたボランティア活動が、保険を掛けられない、という一事で継続できない事になってしまいます。

因みに、「ボランティア保険」は、全国の社会福祉協議会で受け付けている保険です。社会福祉協議会は、全国社会福祉協議会があり、その下に都道府県の社会福祉協議会があり、更に市区町村の社会福祉協議会があります。これらの社会福祉協議会が、其々の実情に合わ

せて、ボランティアセンターを運営しています。

ボランティアをしたい人は、ボランティアセンターに「ボランティア登録」をすることで、様々なボランティアのチャンスが得られます。この登録をするときに、ボランティア保険に加入するわけです。大震災でも、ボランティアを希望する人は全員、ボランティアセンターで受け付け、ボランティア保険に強制的に加入させました。人命にかかわる災害時には当然のことといえます。

車椅子清掃にもまったく同じ保険を掛けています。車椅子清掃になぜ必要かと申しますと、物損と怪我に備える目的があります。死亡にも適用できますが、車椅子清掃では恐らく起こることはないでしょう。物損に適用できることで、受け入れる施設側が安心できることにもつながります。

《 4. 災害物資支援事業（自主事業） 》

法人にとって、災害支援は、被災地の障害児者と要介護高齢者を対象に行われるもので、健常者の災害に対しては適用できません。従って、災害があったからと言って、福祉施設に被害が無かった場合は適用されることがありません。

22年度は、奄美市の特別養護老人ホーム住用の園に災害支援品を送りました。これは、22年度の第110回臨時理事会で決議された事案です。重複しますが、再度、ご説明いたします。

22年10月20日以降、奄美大島は集中豪雨に見舞われました。10月28日には、奄美市の特別養護老人ホームわだつみ苑の裏山が崩れ、ホームは土砂に押しつぶされ、2名の死者を出しました。同じく奄美市の特別養護老人ホーム住用の園も土砂の下敷きになり、全壊しました。

11月に入り、わだつみ苑との連絡を試みましたが、不通で、移転先の伝言も入っていないため、連絡の取りようがありません。他のルートで探すうちに、わだつみ苑は徳洲会グループとして活動していて、被災後は、グループの他の施設に吸収されているらしいと思われました。大きな資本の医療法人が支えているわけです。特別養護老人ホームとしての活動を再開しているかどうかを調べることは出来ない状態でした。

一方、住用の園は、同グループの訪問介護事業所の中に仮事務所をようやく確保して、事業再開に取り組むところでした。入居していたお年寄りも、全員一時帰宅させて、訪問介護に切り替えざるを得ないという話でした。訪問介護事業も行っていたので、ノウハウには問題が無く、事務用備品は、奄美市からの最低限の補助でどうにか事業ができる状態のようでした。

また、大きな災害にも関わらず、被害があったのはこの2施設らしく、他の施設に聞き取り調査を行っても、高台にあったために、障害児施設や授産施設など他の施設には被害がありませんでした。低地にある民家が被害を受け、死者も出た災害でした。

第110回臨時理事会で、予算30万円として配分審査会で審議し、実行するように決議された事案です。下表のように実行致しました。

実施日	施設名	住所	支援物資
H23. 1. 28	特別養護老人ホーム 住用の園	奄美市住用町摺勝610-1	①パソコン 1台 ソニー・デスクトップ ②プリンター 1台 リコー・イプシオン・レーザー ③消毒セット 4セット 手指消毒器1台 アルコール3リットル マスク1000枚 金額¥275,520-

災害が22年10月28日にあり、支援が実施された日が23年1月28日です。3ヶ月を要しました。災害発生から支援するまでの手続は次のようになっています。

- ①被害程度を調査する。県の社会福祉協議会、地元の社会福祉協議会、被災施設、近隣の施設等に聞き取り調査をする。
- ②支援の予算、支援物資を選択する。
- ③理事会に事案を提出する。(配分審査会の審議に懸ける。)
- ④業者に、品物の確保を依頼する。
- ⑤支援施設に「寄附申請書」を提出する。(事前に意向を伝えておく。)
- ⑥施設の合意を得られたら、支援品を業者に発注する。
- ⑦決められた日に、業者から直接施設に支援品が届く。
- ⑧施設から「寄附受領書」が送られてくる。

この作業の①から⑦までに3カ月もかかってしまいました。被災地の災害対策本部では、障害者や要介護高齢者だけに限った支援を受け付けてはくれませんし、また、情報も無く、独自に調査し、行動する必要があります。そのために、対応が多少遅くなることは避けられません。ですが、災害時ですから、少しでも早い対応が出来るよう、工夫を重ねたいと思っています。

《 5. アンケートの結果 》

法人では、毎年、障害児者施設と要介護高齢者施設にアンケートをしています。その結果を以下の表12にまとめました。

このアンケートの目的は、福祉施設が必要としている物は何かを知ることです。法人で用意するものが施設にとって有益であるかどうか、常に配慮しなければいけない事だと考えています。例えば、高級な物や設備品だけが必ずしも喜ばれる有益なものではないと思います。22年の6月に公募したマスク3千枚には、応募が殺到しました。使い捨て手袋も大変に需要があります。介護現場の声を聴くことは、決して無意味ではありません。

表12 《平成22年度アンケートの結果:平成22年12月実施・対象施設数101》

設問①「業務上、最も必要性の高い消耗品を3点お書き下さい。」

回答:有効回答99。上位10点。括弧内は回答した施設数。

1. トイレtp>ーパー(28)
2. 使い捨て手袋(23)
3. コピー用紙(22)
4. マスク(17)
7. ペーパータオル(16)
7. アルコール消毒剤(16)
7. 洗濯洗剤(16)
8. 手洗い石鹸(13)
9. プリンターインク(12)
10. タオル(9)

※その他:紙おむつ(8)ティッシュペーパー(7)パソコン(4)車椅子(3)コピー機(2)
洗濯機(2)掃除機(2)テレビ(2)冷蔵庫(1)ビデオカメラ(1)DVD(1)
デジカメ(1)車両(1) 等

設問②「外来時などに手指のアルコール洗浄の設備が用意されていますか。」

回答:有効回答99。「はい」(91)92% 「いいえ」(8)8%

設問③「②の設問で「はい」の方、どのような方法ですか。」

回答:有効回答91(母数91)。

手動(ボトル)(70)77% 洗浄器(7)8% 併用(14)15%

設問④「何か所に何本または何台ご用意していますか。」

回答:有効回答91(母数91)。回答した施設の総合計は538か所578本103台。

※91施設で538か所、1施設平均6か所弱。1施設最高は29か所。

洗浄器は21施設で103台、1施設平均5台弱。

設問⑤「1年間でアルコールは何リットルくらい必要ですか。」

回答:有効回答73。回答した施設の総合計は17888リットル。

1施設平均245リットル。最高は15000リットル。

設問⑥「②の設問で「いいえ」の方、用意すべきだと思いますか。」

回答:有効回答8(母数8)。「はい」(7)「いいえ」(1)

設問⑦「手指のアルコール洗浄の設備が用意されていない方、その理由をお書き下さい。」

回答:有効回答8。

1. 他の消毒剤(次亜塩酸Na)を使っている。
2. 来客が少ない。
3. 使用料、使用方法の管理が難しい。
4. 経費がかかる。
5. 設置するよう(国や行政からの)指示が無い。
6. 体育館が活動場所なので不要。
7. 置き場を確保できない。
8. 必要性は認めるが…今後準備する。

設問⑧「車椅子は十分に足りていますか。」

回答:有効回答64。 足りている(41)64% 不足している(23)36%

設問⑨「車椅子は定期的に清掃していますか。」

回答:有効回答42。 している(23)55% 時間的に無理(14)33%

そういう事を知らなかった(5)12%

設問⑩「車椅子を定期的に清掃したいと思いますか。」

回答:有効回答57。 思う(53)93% 思わない(1)2% よくわからない(3)5%

今回は、手指洗浄器についての設問もあります。アルコール洗浄している施設は91施設（92%）、そのうち21施設（23%）で手指洗浄器を使っています。とはいえ、洗浄器だけを使っているのは7施設（7%）で、14施設はボトルと併用しています。

また、車椅子に関する設問では、3割強の施設で不足していると答えています。1年前のアンケートとほとんど同じ結果になっています。

寄附・助成金の申込

社団法人あゆみの箱は、寄附や助成金の申し込みを、常時受け付けています。

条件の当てはまる方は、申込用紙にご記入の上お申し込みください。

1. 精神・知的・身体障害児者または要介護高齢者にとって必要または有益であること。
2. 精神・知的・身体障害児者または要介護高齢者を対象とする福祉事業やイベントを行なう上で必要又は有益であること。
3. 個人（障害者本人の保護者や代理人）が申込をする場合は、障害児者または要介護高齢者であることの証明書（障害者手帳等のコピー）を提出できること。
4. 法人や団体の場合は、定款や規約あるいは登録（登記）書類を提出できること。
5. 法人や団体の場合は、民間の非営利活動であること。
6. 法人や団体の場合は、その法人や団体の健常な職員だけに必要とされるものはこの対象にはならない。

お申し込みの後、折り返し、社団法人あゆみの箱から申込書の確認が入ります。

趣旨に適正で内容に虚偽がないと判断された場合に寄附・助成金（原則として、

1件につき10万円以内）が実行されます。

申込用紙はこちらからプリントして下さい。

社団法人あゆみの箱へ郵送又はFAX：03-5721-6826

寄附・助成金 申込書

平成 年 月 日

社団法人 あゆみの箱
会 長 中村メイコ 殿

障害児者 要介護高齢者 の事業のため、
寄附・助成金の申し込みをいたします。

申 込 者 住 所
〒

法人・団体名

代表者名（個人の場合は本人または保護者）

⑩

連絡先（携帯不可）TEL.

FAX.

ご希望をお書き下さい。（原則として1件10万円以内）

寄附の種類 金員の場合 _____ 円

物品の場合 _____

使用目的（具体的に）

数量 _____

受領希望日 平成 年 月 日

- ◆法人・団体の場合、定款または登録（登記）証明書 有 無
◆個人の場合、障害や要介護の度級を証明できるもの 有 無
（後日、提出をお願いする場合があります）

- ★この申込書の内容が外部に公表されることはありません。
★助成が実施された場合は、住所、氏名、助成金額などは公表されます。
ただし、正当な理由がある場合には、住所、氏名は非公表にします。